PRESS RELEASE
2024年6月

中之島 香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

特別展

珠玉の西洋絵画：モネ・ルノワール・ピカソ

－和泉市久保惣記念美術館所蔵品展－

The Great Masterpieces of Western Painting: Monet, Renoir, Picasso
Collection from the Kuboso Memorial Museum of Arts, Izumi

和泉市久保惣記念美術館（大阪府和泉市）は、日本と中国の絵画、書、工芸品など東洋古美術を主に所蔵する和泉市立の美術館です。

「久保惣」(久保惣株式会社)は、明治時代からおよそ100年にわたり綿業を営み、泉州（大阪府南部）有数の企業として大きく発展しました。三代久保惣太郎氏(1926-1984)が代表して、所縁の地である和泉市の地域文化発展と地元への報恩の意を込め、約500点の東洋古美術、および美術館の建物、敷地、基金を和泉市へ寄贈し、昭和57年(1982)10月に開館しました。その後も久保惣や個人からの寄贈等によりコレクションは拡充しており、所蔵作品は現在約12,000点を数えます。

本展では、同館が所蔵するモネ、ルノワール、ピカソをはじめとする西洋近代美術25点（寄託品も含む）を、館外で初めて一堂に公開します。

会　　期	２０２４年６月２９日（土）～９月８日（日）
休 館 日	月曜日（祝・休日の場合は翌火曜日）
開館時間	１０時～１７時（入館は１６時３０分まで）
入 館 料	一般１，５００（１，３００）円、高大生９００（７００）円、小中生５００（３００）円 （　）内は前売り（一般のみ）・20名以上の団体料金 前売り券は中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンター、主要プレイガイド、 コンビニエンスストア、公式HP（オンラインチケット）で販売します。
主　　催	公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社
協　　力	和泉市久保惣記念美術館
夜間特別開館	２０２４年７月２５日（木）、８月２２日（木） １０時～１９時３０分（入館は１９時まで）
会　　場	中之島香雪美術館 大阪市北区中之島３-２-４中之島フェスティバルタワー・ウエスト４階 TEL：０６-６２１０-３７６６　FAX：０６-６２１０-４１９０ https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/

第１章　近代絵画の黎明

フランス革命後（1789 年～）の美術は、ヨーロッパ全土において、政治や宗教の強権から解かれるかに見えました。しかし理想と現実はつねにかけ離れます。民衆的自由が広がると思いきや、権力からの反動がそれを押しとどめるのです。振り子のように両極端に振れる時流の中で、ゴヤは失望を癒すため、闘牛を主題とする版画集の制作に打ち込み、そこに真実を求めます。同様に、ミレーとコローも、人為にまみれた都市よりも慎ましい農村の生活にこそ、人間的な真実を見ようとします。

ここに展示されるのは、自由と真実を希求した画家たちのほんのわずかな作例ですが、近代絵画の本質が何なのかを、よりよくあらわすものとなっています。

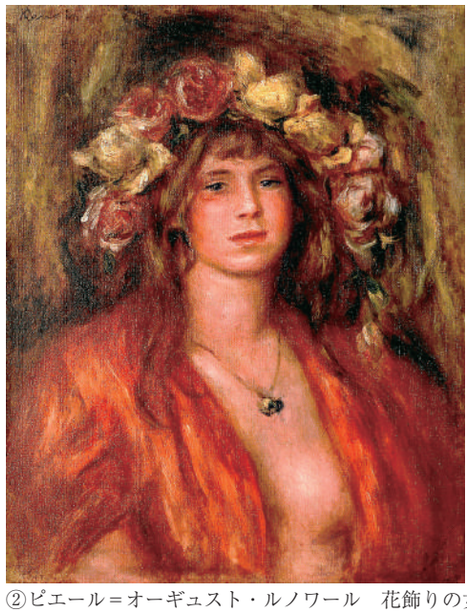
第２章　「印象派」の時代

ドガ、モネ、ルノワール、ゴッホ、ゴーギャン―いまや説明が不要なほどに、よく知られた画家たちですが、「印象派」とは、そもそも批評家による造語で、画家自身による自発的な呼称ではありませんでした。そのように、一方的で画一的な批評の裏側で、それぞれの画家たちが何を表現しようとしていたのかを知ろうとすること―「印象派」の正しい理解を求める鑑賞者にはそれが重要な態度となるでしょう。

都市生活の主題を好み、そこに見出される人間のかたちを美しく描出したドガ。幸福の暖かさと儚（はかな）さを絵筆によって思索したルノワール。「我々が文明と呼ぶ因習的な愚鈍化」※を糺（ただ）すことに絵画の使命を見出したゴッホとゴーギャン。ロダンは「印象派」の意義を永遠のかたちにとどめるために、《考える人》を残した、と言えるかもしれません。

※フィンセント・ファン・ゴッホの手紙、ゴーギャン宛、1888年10月3日付、アルル

①クロード・モネ　睡蓮（1907 年）



②ピエール＝オーギュスト・ルノワール　花飾りの女

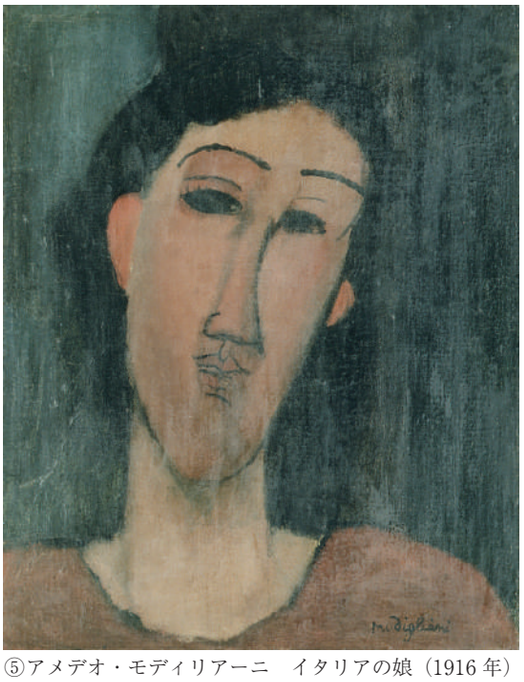
③フィンセント・ファン・ゴッホ　紡ぎ車を繰る女（1883 ～ 84 年頃）

第３章　20 世紀前半　パリ

19 世紀末から第一次大戦勃発（1914 年）までのパリでは、世界最初の百貨店「ボン・マルシェ」とともに一般大衆による消費文化が栄えました。突如、戦争に断ち切られることになる繁栄でしたが、後世はその歳月を「ベル・エポック（美しき時代）」と呼び、ノスタルジックに回顧します。

ここに展示するのは、ロートレック、モディリアーニ、藤田の三人ですが、いずれも軽佻浮薄（けいちょうふはく）な物質文明に踊らされることなく、いわば夢のあとさき、言い換えるなら、現実のむなしさを意識した制作に勤しんだ画家たちです。

④アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
マルセル・ランデ嬢 胸像（1895 年）



⑤アメデオ・モディリアーニ　イタリアの娘（1916 年）

第４章　夢の再生

先に見た、モディリアーニと藤田は、「エコール・ド・パリ」の画家と呼ばれることがあります。その呼称に厳密な定義はありませんが、おおよそ、パリに住み、ボヘミアン的な生活をしていた外国人芸術家たちを指します。若き頃のピカソもシャガールも、そして藤田も、そうでした。それぞれに動機は違えども、戦争へと突っ走る窮屈（きゅうくつ）な社会から飛び出し、人間的「自由」を夢見つづけました。

確かに戦争は、「エコール・ド・パリ」の画家たちの表現に物悲しい陰影を与えたことは否めません。しかし、戦争中の電気のない中で、ピカソは自転車のチェーンを輪転機に結び付け、リトグラフの印刷機を回しつづけたと言います。その色彩には、けっして手放されなかった「自由」への思いが今も響いているのです。

和泉市久保惣記念美術館

和泉市久保惣記念美術館は、昭和 57 年（1982）に開館した和泉市立の美術館です。日本と中国の絵画、書、工芸品など東洋古美術を主とした国宝 2 件、国の重要文化財 29 件を含む、約 12,000 点を所蔵し、所蔵品を活かした企画展と独自の特別展を開催しています。展覧会以外にも、茶会や音楽会、市民の創作活動と発表の機会を提供し、市の文化振興に努めています。

「久保惣」（久保惣株式会社）は、明治時代からおよそ 100 年にわたり綿業を営み、事業を拡大し、泉州有数の企業として大きく発展しました。初代久保惣太郎氏（1863-1928）が明治 19 年（1886）に創業した「久保惣」は、二代惣太郎氏（1889-1944）、忠清氏（1900-1954）、三代惣太郎氏（1926-1984）と引き継がれ、地元和泉市の発展に大きく寄与しました。昭和 52 年（1977）に会社を廃業したのを機に三代惣太郎氏が代表して、和泉市の文化振興のために、美術品および美術館の建物、敷地、基金が和泉市へ寄贈され、久保家旧本宅跡地に開館したのが「和泉市久保惣記念美術館」です。

平成 9 年（1997）には五代目代表者で名誉館長の久保恒彦氏によって美術館新館が寄贈され、その後も、久保家や久保惣の関係者から、音楽ホール、市民ギャラリー、市民創作教室、研究棟が追贈され、約 5,000 坪の敷地を有する今の姿に至っています。

新館正面玄関

西洋美術展示室（2020）

記念講演会

久保惣コレクションと西洋絵画 ー 東と西の美術を繋ぐ ー

【講　師】河田（かわだ） 昌之（まさゆき） 氏（大阪芸術大学 教授／和泉市久保惣記念美術館 館長）
【日　時】2024 年 7 月 20 日（土） 14：00 ～ 15：30
【会　場】中之島会館（当館隣）
【参加料】500 円（展覧会観覧には別途入館料が必要）
【定　員】280 名（予定・先着順）
【受付開始】2024 年 4 月 13 日（土）

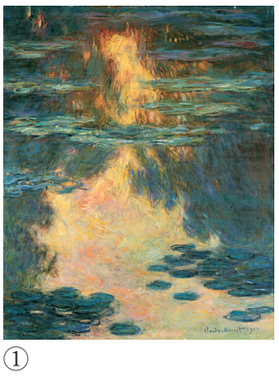
応募方法

◎ウェブサイト
当館HP 上の専用フォームをご確認ください。

◎往復ハガキ
1通で2名様まで応募可能。参加人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所・氏名をご記入ください。返信ハガキで参加証を郵送します。

【宛先】〒530-0005　大阪市北区中之島 3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階
中之島香雪美術館「久保惣」展 講演会係

作品画像貸出一覧


①

②

③

④

⑤

⑥

①クロード・モネ　「睡蓮（すいれん）」1907 年、油彩・キャンバス

②ピエール＝オーギュスト・ルノワール　「花飾（はなかざ）りの女」、油彩・キャンバス

③フィンセント・ファン・ゴッホ　「紡（つむ）ぎ車（ぐるま）を繰（あやつ）る女」1883 ～ 84 年頃、水彩・紙

④アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック　「マルセル・ランデ嬢 胸像」1895 年、
リトグラフ・紙

⑤アメデオ・モディリアーニ　「イタリアの娘」1916 年、油彩・キャンバス

⑥オーギュスト・ロダン　「考える人」原型は 1880 年、ブロンズ

※所蔵は全て和泉市久保惣記念美術館

FAX: 06-6210-4190

取材・写真使用申込書

中之島香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

（西暦）　　年　　月　　日

取材について

取材者	フリガナ 会社名 住所　〒 E-mail	フリガナ 担当者名（連絡者） TEL FAX 取材人数　　名
取材希望日時	（西暦）　年　月　日　時　分 ～　時　分	
媒体	種別　□テレビ　□ラジオ　□新聞　□雑誌　□その他（　　） 番組名・コーナー名	
放送・発行日等	（西暦）　年　月　日　時　分 ～　時　分	
取材の範囲	撮影　□す　る（撮影機材　□スチール　□ENG　□DVC） □しない	
備考 特に取材したい場所・内容等		

写真使用について

プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作品画像		中之島香雪美術館 館内画像	

注意事項

・企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。
・原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に中之島香雪美術館広報担当宛に確認のためお送りくださいますようお願いいたします。
・掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。
・画像の名称（作品名）、指定、展示期間、所蔵元、クレジット（ある場合）を記載してください。
・サイズは、（web 掲載用）長辺 1000px　100dpi　（紙媒体用）長辺 1000px　300dpi　まで。
・ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長 6 ヶ月とし、その後は削除をお願いします。
それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。

報道関係のお問い合わせ

「中之島香雪美術館」　広報担当
TEL 06-6210-3766　FAX 06-6210-4190　Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4　中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4階